

週刊 高齢者住宅新聞

2013年(平成25年) 6月26日

Elderly Press Newspaper (毎週水曜日発行) 第260号
エルダリープレス ニュースペーパー

(株) 高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
TEL.03-3543-6852 (編集部) http://koureisha-jutaku.com
発行人 西岡一孝 印刷 印刷 21 000円 (送料込)

自立生活を支援 FC加盟急増

リハビリデイ FC特集

■主なリハビリデイサービスFC一覧

(社名50音順)

社名	ブランド名	特長	直営	FC	開業年	所在地	特徴
イーライフグループ	nagomi		126	23	103	2008	東京都豊島区 脳血管疾患等をメインターゲットとし科学的根拠に基づいた運動プログラムを採用。今年度170店舗に
ウェルネスフロンティア	ジョイ・リハ		52	20	32	2009	東京都葛飾区 広いスペースを利用した集団運動をメインにサービス提供。オリジナルマシンを導入し入退館、履歴管理も行っている
介護NEXT	GENKI NEXT		112	22	90	2006	群馬県伊勢崎市 介護全体で、心も体もげんきにさせる GENKI NEXT。今年度200店舗を目指す。
フランスベッド	悠々いきいき倶楽部		21	5	16	2011	東京都新宿区 要支援者を対象にサービス提供。FC・直営含め今年度30店舗へ
ベストケア	デイサービスセンター		24	22	2	2006	愛媛県松山市 西日本エリアを中心にリハビリデイサービスの直営・FCを展開。現在関東エリアにも進出
ポシブル医科学	ポシブル		34	18	16	2008	大阪府大阪市 PTが集まりプログラム開発。直営店で事業性を検証しFC事業を本格化
ほっとステーション	LET'S倶楽部		47	2	45	2010	東京都品川区 FCとしては日本で唯一、ドイツの医療認定を受けた高齢者専用トレーニングマシンを導入。パワーリハビリテーションを実施
早稲田エルダリーヘルス事業団	早稲田イーライフ		54	12	42	2006	東京都大田区 早稲田大学エルダリー・ヘルス研究所で研究された介護プログラムや「イトレ」を実施

※総数、FC、直営は店舗数(2013年5月末日現在)

療・看護の三位一体でケア者も多くなっている。アミックス展開を行って 特に最近、顕著なのが通常のデイサービスでは 機能訓練を主軸にしたケアが相次いでいる。また、イーライフの台頭だ。この競合他社との差別化を図るのが難しいことを理由に、ハビリを受けられないリハビリ難民の増加や、医療技術の進歩や生活習慣問題、超高齢化などを背景に介護保険下のリハビリニーズが拡大しているため、介護予防や自立支援などを目的とした機能訓練型のデイサービスFCを展開する企業が増え、ここ1年FC加盟希望は急増。各社急激に店舗数を増やし始めている。

直営・FC合計店舗数トップは、FC開始から約4年で126店舗に拡大しているイーライフ・グループ(ブランド名:nagomi)。同社は、慢性疾患を中心とした比較的軽度な要介護認定者をターゲットとし、機能訓練に特化したサービスを提供。ターゲット層を綿密に分析し、それに合わせて独自に開発した「科学的根拠のある運動プログラム」と、介護業界では難しいと言われている「徹底した標準化モデル」を導入することで、専門性の確立とローコストオペレーションを実現している。また、自社ブランドでのリハビリ事業を希望する同業者へ配慮し、2年前から自社ブランドによるライセンス事業にも注力して

FC店舗数トップは126店のnagomi。介護予防に特化したリハビリサービスや地域高齢者を支援するために介護・医療・看護の三位一体でケア者も多くなっている。アミックス展開を行って 特に最近、顕著なのが通常のデイサービスでは 機能訓練を主軸にしたケアが相次いでいる。また、イーライフの台頭だ。この競合他社との差別化を図るのが難しいことを理由に、ハビリを受けられないリハビリ難民の増加や、医療技術の進歩や生活習慣問題、超高齢化などを背景に介護保険下のリハビリニーズが拡大しているため、介護予防や自立支援などを目的とした機能訓練型のデイサービスFCを展開する企業が増え、ここ1年FC加盟希望は急増。各社急激に店舗数を増やし始めている。

業にも注力しておられる。今年度末には全国170店舗体制を築き、2006年にFC事業を展開して以来、堅実に店舗数を伸ばし54店舗体制になっている。ウェルネスフロンティアは、オリジナルの運動マシンを導入できるのがGENKI NEXTの特長。利用者ごとの筋力T。「介護全体」に合った運動負荷を切り口に店舗数を急増させており、今年度末までには約100店舗増の200店舗へと急拡大の予定だ。



▲nagomi千川店の外観

このほか50店舗を突破している。また、ほっとステーションが7月に50店舗を達成する。同社はパワーリハビリテーションを推進しており、ドイツの医療認定を受けた高齢者専用マシンを活用しているのが特長だ。

店舗数最大手に聞く



イーライフグループ 小川 義行 社長

2015年に2500店舗体制を確立し、各店の登録者数トップという地域NO.1を目指します。これまでは、「科学的根拠のある運動プログラム」と「徹底した標準化モデル」により店舗数を拡大してきましたが、昨年の介護保険改正後は組織の早期増員に取り組んでいきます。

2年後 250 店体制へ

充てた1年でした。今年度は量的拡大、質的向上を前面に打って出る1年にしていき、今年度末までに最低1700店舗まで出店します。その実現に向け、採用・教育・評価に関して創業以来最大の投資を実施。勤続年数、年齢、学年、学歴、性別など一切関係なく、ミッシェンやヒューマンを理解・共有し、自発的に働き成果を出す「人材」の早期増員に取り組んでいきます。